

# 慢性疾患管理の医療支援

## 新潟県医療救護班 災害拠点病院等 第21班

新潟県医療救護班 新潟県立十日町病院

山崎 元義

災害名：東日本大震災  
 派遣先：宮城県石巻市  
 派遣期間：2011年4月30日～5月2日  
 活動内容：石巻市内 診療所（住吉小学校、市立女子高校）  
 巡回診療 グループホームぐらんす

### 〈周辺状況〉

石巻市避難所152か所 避難者22,860名  
 石巻市立病院仮設診療所や近隣開業医が復活し、往診は限定的にと指示あり  
 アセスメントシートによる生活状況伝達：行政・福祉機能を医療チームが代行  
 宿泊：永井いきいき交流センター

### 〈診療状況〉

対象者：住吉小学校27名、市立女子高58名、グループホームぐらんす17名  
 午前：住吉小学校診療所 数名受診、グループホーム 数名往診  
 午後：市立女子高 数名受診  
 避難所は廃用症候群・認知症進展予防が課題になる状況にある  
 ○感冒、下痢、関節痛、食欲不振など急性疾患に処方

- 高血圧、糖尿病、喘息など慢性疾患に処方
- 褥瘡処置や看護的対応多数あり
- ペット同居避難や認知症（尿臭漂い徘徊あり、転出拒否）など管理問題あり

### 〈災害医療ならではのトラブル〉

- 処方されたという連絡を受け、薬剤を取りに来た患者家族に案内できず。避難所の処方箋は石巻赤十字病院に持ち込まれ、メロンパンチーム（地元薬剤師会）により避難所本部に配送するシステムになっていた。
- 再診患者にカルテが出せず。あいうえお順に整理のはずが、他の位置にあった。

### 〈情報管理について〉

まず診療記録管理について災害対策本部から統一した指示はなかった。新潟県医療救護班としての申し送りも特になかった。継続した診療内容の把握、撤収後の地元医療機関への連携などを考えた管理が必要である。

アセスメントシートでの生活状況の伝達や心のケアチームへの伝達など、診療に伴う情報の活用も必要である。

短期で派遣される医療救護班以外に、これらの情報管理を行う機構を併存させる必要がある。